

# グリーンプラン・パートナーシップ事業(2号事業) 概要説明

▼地域新エネルギービジョンにおけるプロジェクト図

| 1. 事業概要      |   |      |         |
|--------------|---|------|---------|
| 実施主体         | 栃木県塩谷町  | 実施場所 | 栃木県塩谷町内 |
| 共同実施者        | —   | 推薦者  | —       |
| 2. 事業内容      |   |      |         |
| 事業名称         | 清らかで豊富な水資源の活用と省エネ×創エネによるエネルギー自立化事業  |      |         |
| 検討対象設備等      | マイクロ水力発電機およびEV給電システムの導入検討、公共施設の省エネ×創エネ化検討   |      |         |
| 26年度補助金交付希望額 | 9,935,000円  |      |         |
| 事業内容         | <p><b>(1)湧水活用小水力発電によるEV給電用電力自給自足事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>塩谷町では名水百選で全国一位にも選ばれた名水(尚仁沢湧水)を地域資源として捉え、無料の湧水水汲み場などの余剰水を活用して小水力発電を行い、その電力を用いて、電気自動車の給電用電源とすることや、隣接する町有の観光拠点施設で電力を使用することで、電力の自給自足を實現する事業について実証等の調査を行う。</li> </ul> <p><b>(2)農業用水活用小水力発電による地域内電力融通事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>別途調査を進めた結果等を用い、同じ栃木県的那須野ヶ原における水力発電事例を参考に、水力発電のさらなる普及について検討する。</li> </ul> <p><b>(3)省エネ×創エネによるエネルギー自立化事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町有施設のうち今後も永続的に活用する施設で、エネルギーを多消費している施設など5施設程度を対象に、「省エネ」と「創エネ」の導入検討を行う。</li> </ul> <p><b>(4)主体形成及びその他検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)から(3)について、事業の運営主体について、官民連携の検討を行う。</li> <li>本町に適した再生可能エネルギー等を調査・研究し、「(仮称)しおやGPP計画(アクションプラン)」として取りまとめ、今後の具体的な事業段階へ移行する。</li> </ul> |      |         |
|              | <p>▼(1)湧水活用小水力発電、(3)省エネ×創エネのイメージ図</p> <p>▼(2)農業用水活用小水力発電の候補地(例)</p>   |      |         |
| 3. 設備導入予定等   |   |      |         |
| 設備導入予定       | 地域に豊富に存在しながら現在はあまり活用されていない地域資源である「水」を活用し、かつ設備を町民等に見えるように設置する工夫を本事業を通じて行うことで、町民や町内立地企業への波及を狙う。本事業の結果を踏まえ、平成27年度以降、町主導で民間との連携により導入。なお、その際、本事業の結果を参考に、1号事業の申請対象を削減余地の高い事業に絞るなど効率的な設備導入を検討。   |      |         |
| 副次的効果        | <p>(1)地域経済の活性化: 設計、工事等による一次的な経済活性化効果に加え、雇用創出や関連産業創出などの二次的な経済活性化を生む。なお、町の振興計画にも、尚仁沢湧水有効利活用事業が主要プロジェクトとして位置づけられているところ。</p> <p>(2)エネルギーの自立化による防災力強化: 省エネや再エネにより、エネルギーの自立化による防災力を強化する。</p>  |      |         |